

H17年度 歴文税タイムズ

～歴史と文化の環境税の使いみち～

実施事業

観光マップ、ホームページの作成

観光客に情報をわかりやすく提供するために、観光マップを作成しました。特に、平成17年は国立博物館の開館ということもあり、4ヶ国語のマップも作成しました。

また、ホームページに「観光プログラム」を追加しました。

万葉歌碑整備事業

太宰府の歌碑めぐりコース充実のため、万葉歌碑を3基新設し、解説板も設置しました。散策ルートとして市内外にPRしていきます。



サイン整備事業

九州国立博物館開館に伴い、市内各所に誘導看板や観光案内板、観光客へのもてなし看板等を設置しました。



天神様のほそみち再整備事業

天神様のほそみちについて、再整備することで、安全で、魅力ある空間を創出します。今年度は交差点の改修を行いました。



臨時駐車場設置事業

正月三が日に駐車場が不足するため、市役所や小・中学校の校庭など5ヶ所を臨時駐車場として提供しました。



仮設トイレ設置事業

年末年始の交通渋滞が発生する時期に、市内6ヶ所に臨時仮設トイレを設置しました。



特産品開発

商工会、事業者、観光協会等と連携を図り、「太宰府」ならではの魅力ある特産品開発を支援します。今年度は、梅酒「東風の梅」を開発しました。



地域振興事業助成

門前まつりなどの地域活性化事業に対し助成しました。



花いっぱい運動

市民と行政との協働により、市民や来訪者（観光客含む）が市内各所で季節感と美しさを感じられ、うるおいとやすらぎが持てるように、市民のための“花で彩られた生活空間”と来訪者のための“花で彩られたもてなし空間”を創りました。特に、今年は、国博の開館に合わせて、幹線道路沿いにプランターを設置しました。



緑化推進事業

交通混雑が発生する駐車場入り口や幹線道路付近を中心に、美しい街並みの形成や環境負荷を抑えるための緑化空間整備を推進します。今年度は、未実施で現在調整中です。

門前町美化推進事業

大晦日及び正月3が日に、門前町を含む参道の美化を推進するため、観光協会やボランティア団体と連携を図り、美化推進とごみ排出抑制・啓発に努めました。



幹線道路周辺美化推進事業

来訪者が通る幹線道路周辺の美化を推進しました。今年度は、3路線について清掃を行いました。



『太宰府発見塾』推進事業

市内の歴史・文化遺産、自然、産業、祭り等を通して太宰府の価値を再発見する「太宰府発見塾」を開催しています。「太宰府市まるごと博物館」の様々な取り組みの中の事業への参画を推進し、期間は、前期(平成17年2月から平成18年3月)で22回します。後期は、平成18年4月から平成19年3月頃までを予定しています。



史跡地ライトアップ事業

12月31日~1月3日の間、観世音寺、戒壇院の本堂や境内の文化財をライトアップし、悠久のときをこえて響く観世音寺の「梵鐘」の音に浸りながら、新年を迎えました。



古都太宰府ウォーク事業

市域内を散策しながら、太宰府の文化を再発見する事業です。太宰府市内に点在する様々な歴史・文化的な遺産を巡り、太宰府市が提唱する「まるごと博物館」を推進するために古都太宰府ウォーク事業を3月26日に開催する予定です。



国立博物館の開館イベント

平成17年10月16日に九州国立博物館が一般公開されるにあたり、さまざまな歓迎イベントを実施しました。関係する4団体（商工会、観光協会、太宰府天満宮、市）で構成されるブランド会議でその内容が協議され、連携して開館祝いと来訪者へのおもてなしを行いました。その事業の一部に歴史と文化の環境税を使用しました。



【問合せ】

太宰府市 市民生活部 税務課 歴史と文化の環境税推進係
☎092-921-2121（内線380）